

プレスリリース 2026年3月1日

カボシア株式会社

β公開から約10日で1,300件超のAPI利用登録 日本初*、AIから直接つながる有報データ基盤 「EDINET DB」正式リリース

*名寄せ済み日本株有報データをリモートMCPで提供するサービスとして（当社調べ、2026年3月時点）

カボシア株式会社（本社：東京都港区、代表：小池陸）は、日本の全上場企業3,846社の有価証券報告書データを構造化し、APIで提供するプラットフォーム「EDINET DB」を2026年3月1日に正式リリースしました。

2月17日のβ公開から約10日間で、APIキー登録は1,300件を超え、月間APIリクエストは50万件に達しました。Claude・ChatGPT・Cursorなど、AIツールからのリクエストは1万5千件を超えています。

正式リリースに伴い、Free（無料） / Pro ¥4,980 / Business ¥29,800 / Enterprise（個別）の4プランを発表。3月7日までの登録者は全有料プラン永久半額で利用できます。

URL: <https://edinetdb.jp>

■ β公開から約10日間の実績

2月17日のβ公開以降の実績です。

指標	実績
APIキー発行数	1,300件超
月間APIリクエスト	50万件超
AIツール連携（MCP）	1.5万件超
月間ユニークユーザー	約4,000名
API利用者数（月間）	600名超

対応企業	全上場3,846社
------	-----------

プレスリリース配信とXでの拡散をきっかけに、公認会計士、個人投資家、AIエンジニアなど多様なユーザーが登録しています。

■ AIが財務データを間違える理由

AIに「トヨタの営業利益率は？」と聞いて、正しい数字が返ってくるとは限りません。Web検索で拾ったデータが古い、出典が不明、あるいは数字そのものが間違っている。いわゆるハルシネーションです。原因の一つは、AIが参照できる構造化された財務データベースが少ないことにあります。

金融庁EDINETには、全上場企業の有価証券報告書がXBRL形式で公開されています。無料でアクセスできる公共データです。

しかし、このデータを系統的に横串で見るとは困難です。JP GAAP（日本基準）、IFRS（国際基準）、US GAAP（米国基準）の3つの会計基準で科目名が異なり、さらに企業ごとに独自のタクソノミ（定義やラベル）が存在します。同じ「売上高」でも、タグ名が企業によって違う。1社ずつ個別に調べることはできても、3,846社を横断して分析するには、この差異を吸収する名寄せ処理が不可欠です。

EDINET DBは、3会計基準にまたがる170以上のXBRLタグマッピングと、企業独自の拡張タグに対応するフォールバック機構で、この名寄せを自動化しています。名寄せロジックはドキュメントで公開しており、外部から検証できます。

EDINET DBを接続したAIツールは、Web検索でデータを探す代わりに、API経由で構造化された数値を直接取得します。検索にトークンを消費せず、ハルシネーションのリスクが下がる。1社だけでなく、3,846社を横断した分析がAPIやMCP一本で可能になる点が、このサービスの本質です。

■ 正式リリースの内容

料金プラン

プラン	月額	API上限（日）	主な対象
Free	無料	100回/日	MCP利用、ライトユーザー
Pro	¥4,980	1,000回/日	個人開発者、投資家
Business	¥29,800	10,000回/日	法人、全社スキャン
Enterprise	個別見積	カスタム	SLA・専用サポート

Webでの企業情報閲覧は登録不要、全機能無料です。課金対象はAPI/MCPの利用のみ。Free（100回/日）でも、AIチャット経由(MCP)なら1日約30回程度のAI分析が可能です。

AIツールとの接続

Claude.ai、ChatGPT、Cursor、WindsurfなどのAIツールからMCPプロトコルで接続できます。EDINET DBはリモートMCPサーバーを提供しているため、ローカルにサーバーを構築する必要がなく、ブラウザ上のAIから直接データを参照できます。

ChatGPTやClaude.aiなどのブラウザAIから直接接続できる、名寄せ済み日本株財務データサービスとしては日本初です（当社調べ、2026年3月1日時点）。類似サービスのMCP対応はローカル実行型（ユーザー側でサーバー構築が必要）に留まっており、ブラウザAIからの直接接続に対応しているのはEDINET DBのみと認識しています。

API商用利用OK

EDINET DBのAPIは全プランで商用利用が可能です。EDINET DBを使ったアプリの開発・公開、業務ツールへの組み込み、分析レポートへのデータ利用を許可しています（データの丸ごと再配布・再API化のみ禁止）。

主な提供データ

- 企業基本情報（証券コード、業種、会計基準）
- 最大6年分の時系列財務データ（売上高、営業利益、有利子負債、ROE、EPSなど69項目）

- 財務健全性スコア（0～100、算出ロジック全公開）
- 業種別ランキング（ROE、営業利益率、配当利回り、3年CAGRなど18指標）
- 有報テキスト全文（事業の内容、リスク情報、MD&Aなど。文字数制限なし）
- AI生成の企業分析サマリー

■ ローンチキャンペーン

3月7日までにAPIキーを取得した全ユーザーが対象です。

プラン	通常価格	<i>β</i> 特典（永久）
Pro	¥4,980/月	¥2,490/月
Business	¥29,800/月	¥14,900/月

3月7日までは *β* プラン（Pro相当の1,000回/日）で無料利用を続けられます。それ以降は、アップグレードしない場合Freeプラン（100回/日）に自動移行します。

■ β 期間中のフィードバックと改善

β 公開後の約10日間で67回のコード更新を実施しました。ユーザーからのフィードバックと社内品質チェックの両面から改善を進めています。

- **財務データ項目を24→69に拡充:** 有利子負債（6科目）、棚卸資産（9科目）、売上原価、販管費、減価償却費、研究開発費など45項目を追加。EBITDA、DEレシオ、粗利率などの派生指標もAPIで取得可能に
- **営業利益カバレッジ83%→97%:** 個別決算のみの企業約530社が取得漏れとなっていた問題を修正。残り3%は銀行・保険・IFRS商社など制度上営業利益を開示していない企業
- **有報テキストの全文提供:** β 初期は2,000字で切っていた事業説明やリスク情報を、制限なしで全文提供する形に変更。APIからも全文を返す設計に
- **AI企業分析の全面刷新:** 全3,855社のAI所見をClaude（Anthropic）で統一生成。全件400字以上、自然文フォーマットに統一
- **成長指標の追加:** 3年CAGR（売上/営業利益/純利益/EPS）、フリーキャッシュフロー、前年比成長率をAPIとランキングに追加
- **データの透明性強化:** 営業利益がNULLの場合にその理由をAPIレスポンスに明記。名寄せロジック、財務健全性スコアの算出方法も全てドキュメントで公開
- **セキュリティ監査の実施:** 外部視点を含む2段階レビューで16件を検出し11件を修正

X上では225件以上のメンション・言及があり、以下のような反応が寄せられています。

- 公認会計士から「EDINETのデータを毎日手作業で加工していたが、その必要がなくなりそうだ」という声
- 個人投資家からは「ChatGPTで企業の数字が正しく取れなかった問題がこれで解消される」という評価
- 開発者がEDINET DB APIを使って20分でアプリのプロトタイプを完成させた事例
- 有報テキストと株価の相関を機械学習で分析するモデルを構築したユーザーも

一方で、データの誤りや取得できない項目の指摘もいただきました。配当性向の算出ロジック修正、XBRLタグマッピングの追加など、報告を受けた当日中に対応したケースもあります。

■ 既存サービスとの位置づけ

機能	EDINET DB	バフェットコード	IRBANK	J-Quants
有報テキスト無料API	○	× (法人個別契約)	×	×
AI総合所見	○	×	×	×
財務健全性スコア (ロジック公開)	○	×	×	×
名寄せロジック公開	○	非公開	×	△ (JGAAPベース)
AIツールからの直接接続 (リモートMCP)	○	× (ローカルのみ) ※1	×	× (ローカルのみ)
Web閲覧 (登録不要・ 無料)	○	△ (Free 3年制 限)	○	× (API専用)
API商用利用	○ (全プラン)	△ (法人のみ)	—	× (個人利用のみ) ※2
株価データ	×	○	○	○

※1: バフェットコードMCPはローカル (stdio) のみ。ソースビルドが必要。

※2: J-Quants APIは「個人の私的利用に限定。データを利用したアプリの提供は営利・非営利を問わず禁止」。

2026年3月時点の各サービス公開情報に基づく。最新仕様は各公式サイトを参照。

■ 今後の展開

4～5月の決算ラッシュに向けて、以下の開発を進めます。

- **適時開示 (TDnet) 速報対応:** 決算短信の自動取得と速報表示。AIによる決算要約も準備中
- **配当・株式分割調整済みデータ:** EDINET報告値は株式分割で未調整のため、調整済みDPS・EPSを提供
- **時系列データの拡張:** 現在の6年分 (FY2020-25) を大幅に拡充
- **Anthropic MCPディレクトリ掲載:** Claude公式MCP一覧への掲載申請
- **APIダッシュボードパッケージ配布:** EDINET DB APIを使った業界分析テンプレートをGitHubで公開。APIキー取得後すぐに分析を始められる環境を提供

Webを探索する主体が、人間からAIに移り始めています。しかし、ほとんどのデータサービスは人間が見ることを前提に設計されています。EDINET DBはその逆で、AIがアクセスしやすいデータ構造を優先しています。MCPへの早期対応も、APIの設計も、この思想から来ています。

有価証券報告書から始めていますが、AIが企業分析に必要とするデータをこの基盤上に拡充し、AIにとって最もアクセスしやすい日本の財務データプラットフォームを目指します。

進捗はX (@edinetdb) で発信しています。

■ サービス概要

項目	内容
サービス名	EDINET DB
URL	https://edinetdb.jp
対象データ	日本の全上場企業 3,846社
データソース	金融庁 EDINET API (有価証券報告書)
収録期間	FY2020～FY2025 (最大6年)
API	REST API v1 (11エンドポイント) + MCP Server

料金	Web閲覧無料 / Free ¥0 / Pro ¥4,980 / Business ¥29,800 / Enterprise 個別
対応会計基準	JP GAAP / IFRS / US GAAP

■ 会社概要

項目	内容
会社名	カボシア株式会社
代表	小池 陸
所在地	東京都港区芝浦1丁目9-7
事業内容	AIエージェント基盤の開発・運用、データ分析基盤の構築
URL	https://cabocia.jp

■ プレスキット (ロゴ・素材ダウンロード)

<https://edinetdb.jp/press>

サービス概要、ロゴ素材 (白背景・黒背景・透過PNG)、アイコン、特長サマリーを掲載しています。記事掲載時の素材としてご利用ください。

■ 取材・お問い合わせ

カボシア株式会社

担当: 小池 陸 (共同代表取締役)

メール: edinetdb@cabocia.jp

所在地: 東京都港区芝浦1丁目9-7

■ 補足情報

- 3月7日までにAPIキーを取得したユーザーは、全有料プラン永久半額で利用可能

- リモートMCP Serverは提供中。Claude.ai、ChatGPT、Cursorなどブラウザ上のAIから直接接続可能
 - APIレスポンス・名寄せロジック・スコア算出方法は全てドキュメントで公開
 - 取材用のスクリーンショット・ロゴデータは個別にご提供可能です
-
-